

会議速報

開催概要

- 名 称：第 2 回新潟市広報検討会議
- 日 時：平成 29 年 6 月 26 日（月）午後 1 時から午後 3 時まで
- 場 所：新潟市役所本館 6 階 執行部控室
- 出席委員：椎谷委員，長尾委員，藤田委員（3 名：五十音順）
- 事 務 局：広報課（加藤課長，佐藤課長補佐，米山係長，岡村係長，伊藤主査，小林主査，伊藤副主査，平賀主事）
広報戦略課（鈴木課長）
- 傍聴者：2 名

会議内容

<第 1 回 広報検討会議の論点と課題（振り返り）> 資料 1

前回会議において，主な意見を論点毎に抜粋してまとめたものを，事務局より説明。

<新潟大学学生ワークショップ実施報告> 資料 2

「友達に広めたい新潟市の魅力とその発信方法」をテーマとして学生ワークショップを行い，市の魅力として，「食」「イベント」の他に「アイドル文化や音楽関係が充実している」など若者らしい意見があったことを紹介。

若者への情報発信方法としては，ソーシャルメディアの活用，中でも Youtube やインスタグラムといった視覚的なものを推す意見が多いことを説明した。

また，学生からの市報についてのレポートでは，配布方法の問題（若い世代は新聞より SNS）や，内容の問題（若者目線や参加型の記事の必要性）などが指摘されたことを紹介した。

<議題 市報にいがたのあり方について>

(1) 市報にいがたで情報を伝える対象(ターゲット) 資料3

(2) 発信内容に応じた紙面づくり 資料4 資料5

市民アンケート結果を基に、効果的な広報のためには、年齢・世代別でよく使う情報手段を用いて発信することが重要であること、また今後の市報にいがたのあり方を考えるとき、高齢世代や子育て世代を意識した発信を検討することが有効であることを説明した。

さらに、高齢世代と子育て世代を意識し、月2回の発行とした場合の紙面リニューアル案を提示し、意見交換を行った。

(3) 効果的かつ効率的な発行に向けて

広報課における市報を提供する現況体制と課題を説明し、今後の市報発行頻度の見直しや、編集業務の外部委託による可能性について説明を行った。

併せて、ターゲットを意識した効率的な配送方法についても検討していくことを説明。

(4) その他

第3回広報検討会議における以下の検討テーマについて事務局より説明。

- ① 広報テレビ、広報ラジオ、それぞれの特性を生かした広報と方策について
- ② ソーシャルメディアを中心としたWEB広報の活用について

<委員の主な意見>

学生ワークショップ報告や市報のあり方について意見交換

- ・ 学生に「市報」を手にしてもらう手段としては、まずレイアウトなどで引きつけ、やっていることがうまく伝われば、読んでみようかという気になるのかもしれない。
- ・ 学生には、新聞の購読料が高いとか、チラシがどんどんポストに入れられて困るなど、なかなか新聞になじめないという意見もあった。
- ・ 若い世代はSNSで、わくわく感のある企画的な要素を求めており、ボランティアやシェアリングなどのような、学生の関心のある情報を市政情報と併せて発信するのも有効。

- 「市報」には、表紙に目次やQRコードを載せてほしい。「情報ひろば」は、文字が多いので、写真を入れてほしい。また市の考え方を市民に周知させるためにも、「特集」記事を掲載すべき。
- 市民が欲しい情報も大事だが、市の政策や考えをきちんと知らせる記事は必要。
- 職員は異動があるので、専門的な写真や編集は民間活力の活用も大事。その分職員は取材に力を入れられるのではないか。